

## 令和6年度 全国病院歯科衛生士連絡協議会 実施要領

### 1 目的

本協議会では、病院に勤務する歯科衛生士が、多職種連携や地域連携における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り的確に対応することを目的として開催する。

### 2 開催趣旨

歯科衛生士がその職務遂行の評価を受けるときに、何を基準にして評価されているでしょうか。到達目標を段階的に示す指標があれば、自己評価や他者評価が明確となりその評価システムを構築することで、歯科衛生士の業務を責任もって実践する能力を向上させることができるのではないのでしょうか。

この度、病院委員会では、「歯科衛生士ラダー（仮称）」を作成しました。歯科衛生士の勤務する環境は病院であっても様々でありその業務内容は多岐にわたります。しかしひとつの指標が存在することで、どんな環境であっても自身の現状を把握し、目標が定めやすくなるのではないのでしょうか。

今回、具体的なラダー活用方法を皆様と共に考え、歯科衛生力の評価について皆様と一緒に考えたいと思います。

併せて、(前)厚生労働省医政局歯科保健課長小椋正之先生からのご講演をいただき、国が考える歯科保健医療の動向を直接お伺いできる貴重な機会を皆様と共有し、歯科衛生士の連携を推進していきたい。

### 3 開催日時

令和6年9月22日（日）14：50～16：45

### 4 開催場所

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 中会議室 302

### 5 開催方法

日本歯科衛生学会第19回学術大会併催（現地開催）

### 6 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会（担当：病院委員会）

### 7 参加対象者

都道府県歯科衛生士会の病院歯科衛生士担当者および趣旨に賛同する歯科衛生士

### 8 実施内容（予定）

開会挨拶	14:50～14:55	公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美
講演	14:55～15:25	「歯科保健医療に関する最近の動向（仮題）」 厚生労働省医政局（前）歯科保健課長 小椋 正之先生
	15:25～15:40	質疑応答
ワークショップ	15:40～16:35	テーマ：歯科衛生士ラダーの活用 ～歯科衛生力の評価について～ ミニレクチャー&ワークショップ
	16:35～16:45	まとめ 総評・助言
閉会	16:45	